

# ことばの素材と子ども達

矢 口 裕 康

## はじめに

現在の子ども達の目の前には、さまざまな言葉素材・情報が出現している。でも、先ずは子ども自身が選択するのではなく、大人の選択にたより、まかされる時代があるだろう。

本考は、大人側の選択視点を

1 現在の児童図書における民話素材

2 昔話「笠地蔵」を作品化することとは

3 古本屋と紙芝居

の三つの側面から具体化してみた。子どもと言葉の素材がどう出会えればを考える一つの切掛けとなれば、うれしく思う。

## 1 現在の児童図書における民話素材

私は現在、保育士そして幼稚園・小学校・中学校の先生になりたい女子学生と共に学んでいる。ということで、絵本や紙芝居を含めた児童文学を、授業の中に導入する機会がたくさんある。さて、児童図書の中に、日本の昔話、民話、お化け話、笑い話、行事由来話等の企画が、どのくらいあるのか調べてみた。すると、

	絵本	紙芝居
日本の民話系	6種類	3種類
行事の由来話系	5種類	5種類
お化け・笑い話他系	7種類	9種類
作家の選んだ昔話系	4種類	1種類
英語での昔話系	2種類	3種類
日本の神話	1種類	2種類
の計61種類、みつけだすことができました。（表1参照）		
この61種類の企画を検討してみると、日本の昔話とは何かの一 つの傾向をつかむことができるようと思ふ。		
たとえば、「日本の昔話」「日本むかし話」と企画されたシリーズ にとりあげられた昔話をみると、		
日本の昔話（福音館書店）	日本むかし話（フレーベル館）	
はなさかじい したきりすずめ ももたろう さるかにかつせん ねずみのもちつき	はなさかじい したきりすずめ ももたろう さるかに	
かちかちやま こぶとり ぼうさまのき たべられたやまんば		

表1 絵本と民話等企画

(注: 数字は冊数を表す)

日本〔名作〕昔話 (鈴木出版) 1	
日本むかしばなしライブラリー (フレーベル館) 10	
日本むかし話 (フレーベル館) 8	
むかしむかしばなし (フレーベル館) 既12	
絵本むかしばなし傑作選 (国土社) 20	
てのひらむかしばなし (岩波書店) 10	
日本の昔話 (福音館書店) 5	
福音館の昔ばなしえほん (福音館書店) 既11	
日本のむかしばなし (のら書店) 1	
子どもに語る日本の昔話 (こぐま社) 3	
むかしむかし絵本 (ポプラ社) 30	
ぼくとわたしのみんわ絵本 (童心社) 6	
語りつぐ読みつぐ日本のみんわ絵本Part 1. 2. 3 (ほるぶ出版) 1 (10) 2 (10) 3 (12)	
日本の民話えほん 第1集 第2集 (教育画劇) 1 (10) 2 (10)	
民話こころのふるさとシリーズ (校成出版社) 13	
心のしつけの民話・名作集 (ひかりのくに) 3	
いまに語りつぐ日本民話集 第1集 第2集 第3集 (リブリオ出版) 1 (15) 2 (15) 3 (15)	
行事むかしむかし (校成出版社) 13	
行事の由来えほん	8
行事のえほん	10
行事・12か月のしきけえほん	12
日本のおばけ話・わらい話	20
新・日本のおばけ話・わらい話	10
日本おばえ民話えほん	10
日本ユーモア民話えほん	10
おもしろとんち話 (国土社) 10	
せなけいこ・おばけえほん (童心社) 既15	
ヒサクニヒコの不思議図鑑 (オニ・カッパ・テングの生活図鑑) (国土社) 3	
寺村輝夫のとんち話・むかし話 (あかね書房) 15	
西本鶏介日本むかしばなし (鈴木出版) 7	
松谷みよ子むかしばなし	5
松谷みよ子あかちゃんのむかしむかし	8
一日一話読みきかせ (日本わらいばなし・日本の昔話ゆかいな話、こわい話・新日本昔ばなし) 小学館 7	
英語で読む日本むかし話絵本 (あすなろ書房) 5	
たのしい英会話・日本むかし話 (学習研究社) 10	
日本の神話 (あかね書房) 6	
(ひくまの出版) 10	
(のら書店) 1	

表1 紙芝居と民話等企画

むかしばなし第1集 第2集 (△) 1 (6) 2 (7)
日本のむかしむかし (○) 8
むかしむかしあったとさ (○) 4
むかしむかしがたり (○) 6
TALES OF JAPAN (○) 5
おもしろ民話選 (○) 7
たのしい日本の民話 (○) 7
あたらしい民話でてこい第1集・第2集 (△) 1 (6) 2 (6)
松谷みよ子 民話珠玉選 (○) 5
日本のユーモア民話 (△) 6
ワッハッハ！ ゆかいでおかしい日本の民話 (△) 6
ギャハハ！ おなかがよじれる爆笑民話 (△) 6
わらいばなしいっぱい (○) 7
とんちばなし (△) 6
日本の妖怪ぞろへり (○) 7
日本のおばけ (△) 6
おばけがいっぱい (○) 6
こわいこわ~いおはなし (○) 6
行事由来かみしばい (△) 6
行事・たべものの由来紙芝居 (△) 6
行事むかしばなし (△) 6
なぜ？どうして？たのしい行事 (○) 7
四季の行事シリーズ (△) ひなまつり・たなばた・クリスマス各 5

(注 童心社 (○) 教育画劇 (△) 数字は点数を表す。)

英語で読む日本むかし話絵本 (あすなろ書房)	たのしい英会話・日本むかし話 (学習研究社)	TALES OF JAPAN (童心社)
ねずみの嫁入り 浦島太郎 雪女 鶴女房 たにし長者	ねずみのよめいり うらしましたろう  ももたろう かさじぞう したきりすづめ かもとりごんべえ かちかちやま おむすびころりん はなさかじいさん	したきりすづめ  うみにしずんだおに りゆうの目になみだ たべられたやまんば らいねんはなにどし

「花咲爺・舌切雀・桃太郎・猿蟹」の四つの昔話が重なっていることがわかる。日本の代表的な昔話を五大御伽噺と称するが、二つの企画に重なっている四つの昔話と、フレーベル館でとりあげられて

いる「勝々山」の昔話の五話がそうだ。ということは、すべてとりあげられていることになる。

また、「英語で読む日本むかし話絵本」「たのしい英会話・日本むかし話」「TALES OF JAPAN」の三点の、外国人の人も意識した日本の昔話のシリーズでは、余り五大御伽噺をふまえた選択はみられない。2シリーズで重なっているのは、「舌切雀・浦島太郎・鼠の嫁入り」の三つの昔話である。これも、面白い日本の昔話の一つずつではないだろうか。

以上の三企画にとりあげられた昔話「鼠の嫁入り」が、宮崎県では「石屋がいちばん」として語り伝えられていた。語り手の展開は、「三代目の石屋の孫→馬に乗った武士→殿様→天下→お陽様→雲→風→大きな岩→石屋」と、主人公のなりたいものは変化していく。石屋型とでもいえるような、鼠の嫁入である。「鼠の嫁入り」の昔話は、全国的には、鹿児島県・大分県・福岡県・愛媛県・山口県・広島県・岡山県・鳥取県・和歌山県・京都府・滋賀県・岐阜県・長野県・福井県・新潟県・千葉県・埼玉県・福島県・山形県・宮城県・青森県そして宮崎県の、全国津々浦々二十二府県に伝わっている。そのうち、「石屋型」の鼠の嫁入は、愛媛県・千葉県・埼玉県・青森県そして宮崎県の五県に伝わっている。「石屋型・鼠の嫁入り」も、全国各地に点在して語り伝えられてきた昔話伝承ともみるとができる。と検討してみると、英語で語る日本の昔話シリーズで、「鼠の嫁入り」がとりあげられたのはうなずける。また、「浦島太郎」も、日本の昔話の中で、代表的な話といつてもまちがいないだろう。

次に、西本鶴介・松谷みよ子の二人の作家が選んだ昔話から検討してみる。すると、日本各地のそれぞれの語り手を表すように、かなりの独自性を感じた。

西本鶴介日本むかしばなし (鈴木出版)	松谷みよ子むかしばなし (童心社)	松谷みよ子民話珠玉選 (童心社)
こしおれすずめ にげだしたふくのかみ ゆきむすめ あめをふらせたなみこぞう ちいさなわらいばなし そらへとばされたおとこのこ たのきゅう	ももたろう さんまいのおふだ うりこひめ したきりすずめ こぶとり	したきりすずめ
	松谷みよ子あかちゃんのむかしむかし (童心社)	うみにしずんだおに かさじぞう りゅうぐうのおよめさん うりこひめとあまのじやく
	きつねとたぬきのばけくらべ にんじんさんがあかいわけ くつがじまんのむかでさん おんぶおばけ おとうふやさんとこんにやくさん ふくろうのそめものや だんごころころ やまんじいとたろう	以上、児童図書にとりあげられた昔話を、四つの視点から検討してみた。結果として、日本の代表的な昔話は 花咲爺 舌切雀 桃太郎 猿蟹合戦 勝々山 浦島太郎 鼠の嫁 入 かぐや姫 といえそうである。

最後に、紙芝居の三つの企画「むかしばなし」「むかしむかしあつたとさ」「日本のむかしむかし」を検討してみる。すると、今までの昔話以外では、「かぐやひめ」が2つのシリーズに重なってとりあげられていた。

さて、次に「笠地蔵」を人形劇としてとりあげた際、脚本の内容から物議をかもしたことから、昔話と作品化について考えてみたい。

むかしばなし第1集 第2集 (教育画劇)	むかしむかしあつとさ (童心社)	日本のむかしむかし (童心社)
かぐやひめ うらしまたろう さるかにかつせん はなさかじじい ももたろう ぶんぶくちやがま したきりすずめ おむすびころりん かさじぞう かちかちやま いつすんぽうし つるのおんがえし こぶとりじいさん	かぐやひめ うらしまたろう さるとかに はなさかじいさん	かわうそときつね 天人のよめさま ききみみずきん とんだちようじやさん はちかつき 豆っ子太郎 いもころがし ばけくらべ

## 2 昔話「笠地蔵」を作品化することとは

昔話とかかわってきた一人として、「笠地蔵」をめぐっての、『朝日新聞』「声」欄をめぐつての論争は興味深かつた。そして、このことを検討する中から、今後の昔話伝承のあり方を見出すことができた。(資料①②③参照)

先ずは鬼塚峻織が「昔話の筋書き変更は残念だ」と、NHK教育テレビ・子どもむけ人形劇のストーリー変更に対し、異議を唱えることから始まった。この人形劇は、絵本としても出版されている。NHKテレビにんぎょううげき 日本むかしばなし⑯『かさじぞう』(文／横田弘行 人形デザイン／内山澄子 人形劇／岡崎事務所集英社1989年発行)の次の場面のことをさしている。

「かさは いらんかねえ」「おや、かさうりさんだ」「いってみよう」町の人たちがあつまつてきます。「ほう、これはいいかさだ。ひとつかおう」「わたしもくださいな」「こっちにも」そのとき…、ひゅーう ひゅーう ひゅーう…、つめたいつめたいきたかぜがふいてきました。おじいさんはきゅうに六じぞうがしんぱいになつてきました。「さぞおさむかるうに…、かわいそうに…」六じぞうさまがしんぱいでしんぱいで…。「うるのやめた。おきやくさん、ごめん」おじいさんはかさをかかえてかけだしました。「六じぞうさまあ、いまいきますようー！」おばあさんが「ちそうをたのしみにまつてているのも、すっかりいわすれてかけだしました。「六じぞうさまあー、もうちよつとのがまんですようー！」〉と展開されている。この展開が、一般に語り伝えられた「笠地蔵」から変更されたことに対する疑義である。よく全国的にしられている「笠地蔵」の、この場面の語り口は、  
〈大晦日の町中では笠は一つも売れず、帰り際にその笠を雪の降る

中寒 そうな六地蔵にすべてかぶせてあげ婆さんの待つ家へ手ぶらで帰る)

という展開である。お爺さんが笠を六地蔵にかぶせる行為は同じでも、昔話を通して伝えようとするねらいが、違ってきてしまうのではというのである。鬼塚は、次のように記す。

「その話には、苦労して作り、寒い中遠い町へ売りに行つても売れないという厳しい状況の中でも、他者への思いやりを忘れないおじいさんの心の豊かさが描かれていたように思います。これは変えられたストーリーのちょっとと大げさな優しさよりも、ずっと真実味のある深い優しさなのではないでしょうか?」

昔話には、思いやりや優しさを主テーマに語る伝承が、数多くある。要は、そのテーマをどのように伝えるかである。清池大舟は、「筋書き変更は構わぬと思う」と反論する。清池の主旨は「今回N H Kの番組では『売れるかさをあえて売らず地蔵様にかけてやつた』ということであるが、価値観が多様化した今の世の中だからこそ改めて『他を思いやる』との大切さ』といったようなものを作品を通して強く伝えたかったのではないだろうか。(略) 話が違うことに戸惑う子どもがいたら、昔話の口承性を簡単に説明し、知っている話と少し変わっているけど、おじいさんはやさしかったね、と一言付け加えればよいのではないか」と記す。しかし、子どもは最初にみたもの・出会ったものを、一つの本物としてうけとる。としたら、子どもには本物を与えるべきであるという原則が出現していく。そ



して、「まして、この作品には特定の作者は存在しない。私は、この程度の変更是構わないと思う」とまで主張する。

しかし、この点も問題である。昔話伝承は特定の作者が存在しないからこそ、伝えなくてはならない語りの命の部分の変更是すべきではない。鬼塚は「語り継がれた昔話には、小手先では及ばない人間の真実や味わいがあると思います。なぜ話が変えられたのかわからりませんが、私は少し残念に思いました」との思いは、くみどるべきであろう。

これに対して、制作側・NHK青少年こども番組プロデューサー工藤俊二が、「こどもにんぎょう劇場」では、幼稚園・保育所から小学校一年生までの子供を主な対象に、様々な子どもを対象とし、今まで180本余り制作してきたことを述べた上で次のように答えていく。「制作者は、原典のテーマを尊重しつつ、今の子どもたちに番組を通して何を伝えるかを深く考慮し、様々な脚色をしています」と、制作側の姿勢を記している。

そう、ここにいう

- ・原典の伝えるテーマを尊重
  - ・何を伝えるかを深く考慮
- の視点が、一つの昔話を脚本化する上でも必要なことである。となると、昔話を語り伝える基本的な姿勢は、鬼塚の発した姿勢に同意したいと思う。

## 資料①

昔話の筋書き変更は残念だ

主婦 鬼塚 城織（熊本市 36歳）

先日、NHK教育テレビで「かさじぞう」の子ども向け人形劇が放送されていました。子ども2人と見たのですが、ストーリーが「笠を売りに行く途中で寒そうな地蔵様を見たおじいさんが、町に着き、お客様がたくさん来たのに、笠を売らずに地蔵様まで持つて行く」というように変えられていきました。

これは多分、優しさを強調するストーリーなのでしょうが、私は疑問を感じました。小さい頃読んだこのお話は、「町まで行つても売れずに残った笠を、帰り道に見た地蔵様に『寒かるう』とおじいさんがあげる」というものでした。

その話には、苦労して作り、寒い中遠い町へ売りに行つても売れないという厳しい状況の中でも、他者への思いやりを忘れないおじいさんの心の豊かさが描かれていたように思います。

これは変えられたストーリーのちょっと大げさな優しさよりも、ずっと真実味のある深い優しさなのではないでしょうか。

語り継がれた昔話には、小手先では及ばない人間の真実や味わいがあると思います。なぜ話が変えられたのかわかりませんが、私は少し残念に思いました。

(2006年3月4日(土))

## 資料②

筋書き変更は構わぬと思う

高校講師 清池 大舟（宮崎県延岡市 24歳）

「昔話の筋書き 変更は残念だ」（4日）を読んだ。私はこのNHKの番組を見てはいないが、次のように考えた。

「かさじぞう」のような昔話の多くはもともと口承文芸である。人から人へくちづてに話が伝わるうちに、その時々の時代背景や伝わる土地の風俗、話し手の意向が反映されてきたのだと思う。

今回NHKの番組では「売れるかさをあえて売らず地蔵様にかけてやつた」ということであるが、価値観が多様化した今の世の中だからこそ改めて「他を思いやることの大切さ」といったようなものを作品を通して強く伝えたかったのではないだろうか。

昔話には、教訓など普遍性を持つたメッセージが込められている。だからこそ、それらの作品が現代でも色あせないのである。話が違うことに戸惑う子どもがいたら、昔話の口承性を簡単に説明し、知っている話と少し変わっているけど、おじいさんはやさしかったね、と一言付け加えればよいのではないか。

今回の入形劇が「かさじぞう」という作品の枠を超えるわけではない。まして、この作品には特定の作者は存在しない。私は、この程度の変更は構わないと思う。

(2006年3月25日(土))

## 資料③

お答えします

何を伝えるか考慮し脚色

N H K 青少年・「こども番組プロデューサー 工藤 俊一

私たちの番組「こどもにんぎょう劇場 かさじぞう」に対する、本欄へのご意見について、お答えいたします。

「こどもにんぎょう劇場」では、幼稚園・保育所から小学校1年生までのお子様を主な対象に、様々な国の昔話から現代の創作まで、幅広い種類のお話を人形劇として制作しています。これまで制作してきた180本あまりの中には、原作や一般的に知られた筋書きに忠実に沿つたものもあれば、原典とは多少異なる内容にしたものもあります。

制作者は、原典の伝えるテーマを尊重しつつ、今の子どもたちに番組を通して何を伝えるかを深く考慮し、様々な脚色をしています。「かさじぞう」についても、その一環として理解いただければと存じます。

「こどもにんぎょう劇場」を通して、子と親、また友だち同士の対話が生まれ、その対話を通してお話の世界に広がりを楽しんでいただければ幸いです。

今後も皆様のご意見をうかがいながら、よりよい番組作りに努めてまいります。

(2006年3月28日火)

(資料①②③は、「朝日新聞」「声」欄)

2 (a) 買物の金で笠を買つてかぶせる。  
(b) 家に連れて帰る。

3 (a) 婆も喜んで食うものないまま寝る。  
(b) 婆は怒る。

4 (a) 夜中に地蔵が宝物・金銀・米・餅を運んでくる。  
(b) 地蔵の鼻・腹から米が出る。

5 爺婆はよい正月を迎える。

6 (a) 婆が米をたくさん出そうとして鼻を突いて失敗する。  
(b) 隣の爺がまねて失敗する。」

今回の論争にあつた、六地蔵に爺さんが笠をかぶせる場面も大切であるが、さて、「笠地蔵」の聴き手へと伝えたい、語りのテーマとはなんであろうか。

『日本昔話事典』で荒木博之は、「善良な爺が地蔵から幸福を授かる昔話」と位置づけている。つまり地蔵の報恩以外に、どこにでもいる普通の老夫婦の気持ちのどちらがよいゆえに幸福になる昔話ということである。報恩・幸福がテーマであるが、ここにもう一つ「笠地蔵」には大切なポイントがある。つまり善良な老夫婦の人としての描き方である。お爺さんは雪降る中寒そうにみえる六地蔵すべてに笠をかぶせてあげたいという気持ちをもち、そしてお婆さんは大晦日正月を迎える準備をするため笠売りに行つたお爺さんが、手ぶらで帰つて来たのを快く受け入れてくれる気持ちをもつていたということである。

昔話の主人公には、この人の気持ちの持ち方を語るという大切なテーマを有している場合も多い。つまり雪降る六地蔵へ笠をかぶせるにいたる、その行動をささえる心持ちを、聴き手へと伝えるのも

笠地蔵は、『日本昔話大成11』「一 替話の型」によると

「1貧乏爺が正月の買物に行くと地蔵が雪（雨）にぬれている。

大切なことなのである。この気持ちをもつた老夫婦ゆえに、動くはずもない六地蔵が動き、正月を迎えるための餅・魚・野菜等を含めた様々な贈り物を持つて、老夫婦のもとへ運んできてくれるのである。

### 3 古本屋と紙芝居

紙芝居とは何かを考える素材として、二つの古本屋から入手した42点の作品を、八つの視点から分析してみた。（資料④参照）

以下、気づいたことを整理してみたい。

#### ①書名をめぐって

まずは、伝承民話を素材とした紙芝居の存在に目がいった。題名をあげてみると、

ねずみのよめいり したきりすずめ  
はちかづき姫 かぐや姫 こぶとり  
かもとりごんべえ いつすんぼうし

一寸法師 ぼたもちとおばあさん  
くまさんのしつぽ ひもりのおきな

きつねうりとたぬきうり 雪うさぎ  
つきゆきぐさひめ ブレーメンの音楽隊

と15の紙芝居を見出すことができた。42点中の36%を占めている。

昔話・伝説を含めた、伝承されてきた説話を素材とした紙芝居は、現在も子ども達に支持されている。いつの時代でも、かついつまでたつても色あせないテーマという結果を示している。

また、現在の子ども達も、アンパンマンやちびまる子ちゃん、サザエさん、ミッフィーのような、一人の主人公をめぐっての作品は人気があるが、42点中にも「こねこのみつちーシリーズ」と、一つ

のキャラクターを中心とした作品群もあった。

とんぼつり みつちーのるすばん

みつちー龍宮へゆく みつちーのパトロール

の4紙芝居であった。他にも「みつちーおふねにのつて みつちーのしゃぼん玉 みつちーのおいしやさん」という紙芝居もあり、シリーズ化していく。いつの時代でも、一つのキャラクターに子ども達は興味をもつという傾向の証である。

#### ②出版社をめぐって

資料⑤「紙芝居の歴史」を整理してみた。

#### 参考資料としては

上地ちづ子「紙芝居の歴史 誕生から現在までの歩み」「紙芝居略年表」（『心をつなぐ紙芝居』一九九一年八月一日 童心社刊）

「紙芝居前史 戦前・戦中の紙芝居 戦後の紙芝居 関西の紙芝

居 街頭紙芝居年表」

（『アサヒグラフ別冊 戦中戦後 紙芝居集成』一九九五年十一月二十五日 朝日新聞社発行） を活用した。

一九五五（昭和30）年の頃に、「当時、紙芝居の出版社が6、7社あつた」と記した。私が古本屋より入手した42点の紙芝居の出版社はとみると

藤下書房（昭和28年の作品）

日本紙芝居幻灯株式会社（昭和29、30年の作品）

日本画劇（昭和28、30、33、34、37年の作品）

東京画劇社（昭和26、28、29、30年の作品）

エンゼル社（発刊年未詳）

と、現在、紙芝居出版の主流である童心社・教育画劇を含めた7社、確認できた。ということで、この項を実証できたということになる。

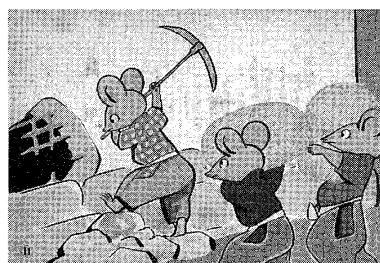
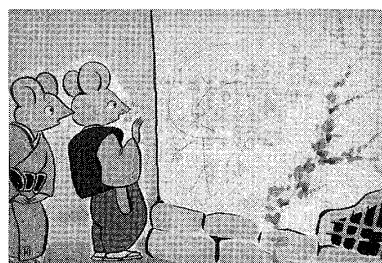
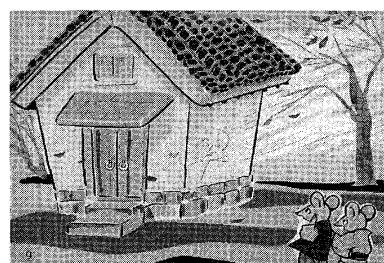
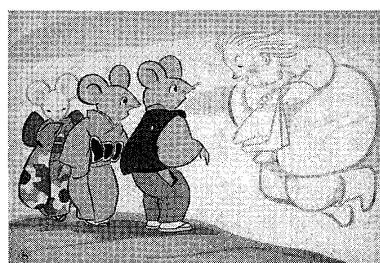
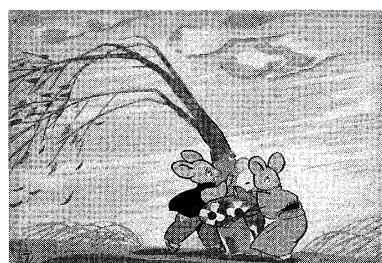
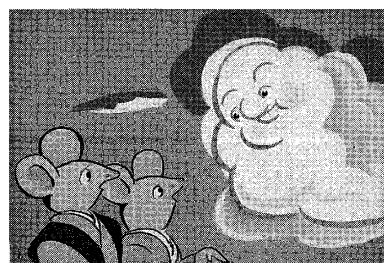
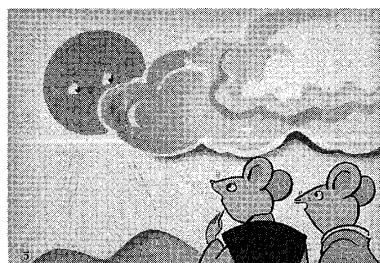
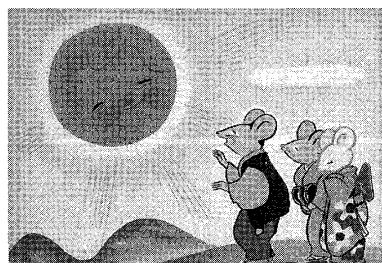
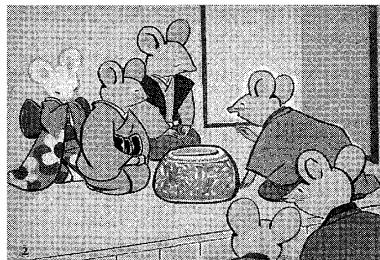
## 資料④ 古本屋にて手に入れた紙芝居42点

❶ 紙袋に入った形で整理していたのか袋の中に紙芝居

書名	作 者 名	出版社名	発刊年	場面数	「おわり・おしまい」の記述	シリーズ名 (価格)	紙袋のめも
日本昔話ねずみのよめいり	文・中村小波 画・林 義雄	藤下書房	昭28. 12. 20	12	ねずみのよめいり・おしませい(完)	(260円)	二月ねずみのよめいり
ぼたもちとおばあさん	作・高橋五山 画・井口文秀 編集・教育紙芝居研究会	日本紙芝居幻灯株式会社	昭29. 4. 25	12	はい、おしまい	作品番号36 (260円)	ばたもちとおばあさん
こざるのターチャん	作・鈴庭桂子 画・まつやまふみね 編集・教育紙芝居研究会	日本紙芝居幻灯株式会社	昭30. 3. 5	14	×	作品番号45 (300円)	こざるのターチャん(年間)
こぶとり	文・煙葉勇 画・新井五郎 編集・保育紙芝居研究会	日本画劇株式会社	昭28. 6. 25	12	おわり	(260円)	こぶとりじいさん(年間) 一年保育 福岡市立公民館区立原幼稚園 園長小島三司 福岡市原小学校来年度学級
ロンロンじいさんのどうぶつえん	原作・筒井敬介 絵画・林 俊夫 保育紙芝居研究会・編集	日本画劇株式会社	昭30. 12. 5	14	(おしまい)	作品番号仁261 (300円)	ロンロンじいさんの動物園
つきゆきぐさひめ(スラブ民話)	脚色・渡川わたる 絵画・中村幸子 (森は生きている) より	日本画劇株式会社	昭33. 1. 15	12	おわり	作品番号仁281 (260円)	つきゆきぐさひめ(2月)
日本昔話かぐや姫	脚色・日本画劇編集部 脚本・中村小波 絵画・山口将吉郎	日本画劇株式会社	昭34. 8. 25	12	おわり	(260円)	かぐや姫(9~10月)
日本昔話一寸法師	黒崎義介・作並画	日本画劇株式会社	昭37. 9. 10	12	(それからいつまでも幸せにくらいましてとさ)	作品番号101 (350円)	一寸法師(年間)
おつきさまおんがくたい	東京画劇社・製作 伊藤 憲・画 幼児教育紙芝居研究会・編	東京画劇社	昭26. 9. 15	10	終	幼児教育紙芝居文庫(7) 作品番号十二 (200円)	お月様おんがくたい(10) 福岡市大字原新村100番地 福岡市立原小学校 電話西②二五一五番
かもとりごんべえ	幼児教育紙芝居研究会・編 和田義三・画	東京画劇社	昭28. 1. 10	12	おわり 終	第二期幼児教育紙芝居文庫 (9) 作品番号25 (260円)	かもとりごんべえ
うぐいすでんしゃ	幼児教育紙芝居研究会・編 伊藤 憲・画	東京画劇社	昭28. 3. 15	12	おわり	幼児教育紙芝居文庫(11) 作品番号28 (260円)	うぐいすでんしゃ(4月) 福岡市原小学校来年見學級
いっすんぼうし	幼児教育紙芝居研究会・編 沢井一三郎・画	東京画劇社	昭28. 7. 10	12	×	第二期幼児教育紙芝居文庫 (二) 作品番号31 (260円)	うぐいすでんしゃ 福岡市立原小学校来年見學級

書名	作者名	出版社名	発刊年	場面数	「おわり・おしまい」の記述	シリーズ名 (価格)	紙袋のめも
チビちゃんロケット	幼稚教育紙芝居研究会・編 池田仙三郎・画	東京画劇社	昭28.11.5	12	終	幼児教育紙芝居文庫 (5) 作品番号35 (260円)	チビちゃんロケット (8月)
いなくなつみこちゃん	幼稚教育紙芝居研究会・編 もり(森)やすじ・画	東京画劇社	昭29.8.20	12	おわり	作品番号41 (260円)	一年保育 いなくなつみこちゃん④ 福岡市原公民館区立原幼稚園 園長小島三司
ちびくろさんぽのぼうけん	幼稚教育紙芝居研究会・編 森山 蕉・画(原作 ヘレン・バン ナマン)	東京画劇社	昭30.1.10	12	×	第四期幼児教育 紙芝居文庫 (8) 作品番号36 (260円)	ちびくろさんぽのぼうけん (6月)
かほちゃんのかほちゃん	原作・渡辺雪枝 画・森山 蕙 編集・幼児教育紙芝居研究会	東京画劇社	昭30.6.15	12	これまでかほちゃんのか ほちゃんのお話、お しまい、	第五期幼児教育 紙芝居文庫 (4) 作品番号40 (260円)	かほちゃんのかほちゃん (7月)
ブレーメンの音楽 グリム童話	脚色・堀尾 勉 美術・山田三郎 人形・原田 和 撮影・酒井善衛	エンゼル社		11	(おしまい)	世界人形劇紙芝居全集 (2-4) (300円)	三月7㊈ ブレーメンのおんがくたい ブレーメンの音楽隊
入園おめでとうの 巻	作・高橋五山 画・林 俊夫	童心社	昭33.2.15	12	(おしまい)	作品番号95 (260円)	先生オハヨウ (4月)
せんせいおはよう よいこの十二か月 おもちゃのまちは おおさわぎ	作・川崎大治 画・黒谷太郎	童心社	昭38.7.5	12	(おわり)	作品番号271 (260円)	おもちゃの町は大騒ぎ (7月)
こねこみっちーシ リーズ とんぼつり	作画・加東てい象 製作・株式会社教育画劇	株式会社 教育画劇	昭27.9.1	12	終	こねこみっちーシリーズ (240円)	ミッチーシリーズ とんぼつり 9月 福岡市大字原新村100番地 福岡市立原小学校 電話西②二五一五番
おやまのかごや モンタの大サーカス	作・大川秀夫 画・石川雅也		昭28.6.21	12	(おわり)	幼児保育紙芝居全集 (8) (240円)	おやまのかごや (年間) 福岡市原小学校来年児学級
したきりすずめ	文・日下きみ子 画・中村幸子		昭28.9.1	16	—静かに幕—	日本名作童話紙芝居全集⑬ (320円)	モンタの大サーカス 福岡市原小学校来年児学級
水玉ぼうやのたび	文・福島のり子 画・柿原照行		昭29.5.5	12	×	伝承童話紙芝居シリーズ (3) (260円)	したきりすずめ (6月)
			昭29.9.1	12	(おわり)	保育漫画紙芝居シリーズ④ (260円)	水玉ぼうやのたび (7~8)

書名	作者名	出版社名	発刊年	場面数	「おわり・おしまい」の記述	シリーズ名 (価格)	紙袋のめも
ひもりのおきな	文・福島のり子 画・安井みつる	株式会社 教育画劇	昭29.12. 1	12	これで火守のおきな はおしまい	伝承童話紙芝居シリーズ⑦ (260円)	ひもりのおきな (11月)
雪うさぎ	文・日下部美子 画・鳥居敏文		昭30. 1. 8	12	(おわり)	伝承童話紙芝居シリーズ⑧ (260円)	雪うさぎ (12月) 福岡市原公民館区立原幼稚園 園長小島三司
みつちーのおるす ぱん	文・大川秀夫 画・加東てい象		昭30. 1. 15	12	みつちーのおるすば んはこれでおしまい	保育漫画紙芝居シリーズ⑨ (260円)	みつちーのおるすばん (年間)
どうぶつ村の学校	文・福島のり子 画・上柳輝彦		昭30. 5. 1	16	(おわり)	児童百科紙芝居 全集あたらしい猿篇 (3) (350円)	動物村の学校 (5月)
おいくぼりの船 長さん	文と画・安井 淡		昭30. 5. 1	12	(おわり)	保育童話紙芝居シリーズ② (260円)	おいくぼりの船長さん (3~4月)
お山のきょうだい	作と画・大川秀夫		昭30.10. 5	12	おわり	幼児のしつけシリーズ (6) (260円)	お山のきょうだい
みつちー龍宮へゆ く	文と画・加東てい象		昭31. 2. 1	12	ではみつちー龍宮へ ゆく これでおしまい	保育童話紙芝居シリーズ⑩ (260円)	みつちー龍宮へ行く みつちー龍宮へゆく
ろばのにぐるま	文・大川秀夫 画・北田卓史 日本童話会編『慈育話材百選』(小 峰書店発行) 松田いせ路			12	(おわり)	幼児のしつけ紙芝居 シリーズ① (260円)	ろばのにぐるま (11~12)
ぞうの子のドンちゃん	文・大牟田 信 画・石川雅也		昭31. 2. 1	12	(おわり)	幼児のしつけ紙芝居 シリーズ⑩ (260円)	ぞうの子ドンちゃん (4月)
みつちーのバトロー ル	作・画・加東てい象		昭31.11. 1	12	(おわり)	幼児テキスト紙芝居全集② (260円)	藤江純子監 福岡市原公民館区立原幼稚園 園長小島三司
はちかつき姫	文・福島のり子 画・池上隆三		昭32. 1. 1	12	(おわり)	幼児テキスト紙芝居全集⑧ (260円)	はちかつき姫 4月



(『ねずみのよめいり』 藤下書房)

書名	作 著 名	出版社名	発刊年	場面数	「おわり・おしまい」の記述	シリーズ名 (価格)	紙袋のめも
しろちゃんばんざい、	作・川崎大治 画・六郷條一	株式会社教育画劇	昭33. 1. 1	12	「しろちゃんばんざい」 これでおしまい、 —静かに幕—	幼児テキスト紙芝居全集⑯ (260円)	しろちゃんばんざい、
大ちゃんとぼち	文と画・やすいたん (安井 淡)		昭33. 1. 1	12	(おわり)	幼児テキスト紙芝居全集㉙ (260円)	大ちゃんとぼち
くまさんのしつぽ	作・福島のり子 画・石川雅也		昭33. 2. 1	12	(おわり)	幼児テキスト紙芝居全集㉚ (260円)	(6月)
つばめのあかちゃん	作・福島のり子 画・上柳輝彦		昭36. 4. 1	12	(おわり)	(350円)	つばめのあかちゃん
どうぶつ三びきう ちゅうたんけん	作・福島のり子 画・加東てい象		昭45. 6. 1	12	(おわり)	(480円)	
くろのはなし	作・神戸淳吉 画・上柳輝彦		昭45. 8. 1	12	(おわり)	(480円)	
きつねうりとたぬ きうり	文・長崎源之助 画・若菜 珊		昭45. 12. 1	12	おわり	(480円)	

▲は古本屋購入場所が違う

## 資料⑤ 紙芝居の歴史

街頭紙芝居	1929.30 (昭和4.5) 年頃から	紙芝居屋増える この頃街頭紙芝居批判高まる 教育者から改善の声もあがる
福音紙芝居	1932 (昭和7) 年	今井よね原画の紙芝居を貸し出して活用をはかる「紙芝居伝道団」を結成
	1933 (昭和8) 年	日本日曜学校編の紙芝居出版 「紙芝居刊行会」設立出版
幼稚園紙芝居	1931 (昭和6) 年	高橋五山「全甲社」創立出版開始
	1935 (昭和10) 年	東西の昔話や名作神話などを原作とした高橋五山「幼稚園紙芝居」を刊行
仏教紙芝居		高橋五山「仏教紙芝居」も刊行
教育紙芝居 (教育的な利用を目的とする紙芝居)	1937 (昭和12) 年 1938 (昭和13) 年	児童校外教育研究所を「日本教育紙芝居連盟」に発展 7月「日本教育紙芝居協会」設立 9月機関誌『教育紙芝居』を創刊 保育問題研究会から「幼児紙芝居」領布
国策紙芝居	1941 (昭和16) 年 1942 (昭和17) 年	日本少国民文化協会(紙芝居部会に紙芝居活動も集約)設立 日本教育紙芝居協会出版紙芝居の発売を日本教育画劇(朝日新聞社の出資による新設された紙芝居販売会社)にゆだねる
教材紙芝居 音楽紙芝居 道徳紙芝居 国語教材紙芝居	1943 (昭和18) 年 1948 (昭和23) 年 1950 (昭和25) 年 1951 (昭和26) 年 1953 (昭和28) 年 1955 (昭和30) 年	国策紙芝居がさかんに出版 3月教育紙芝居と街頭紙芝居を結集した「民主紙芝居人集団」を組織 1月「民主紙芝居団」は「教育紙芝居研究会」に発展 紙芝居出版を目的とした「日本紙芝居幻灯」も併設 1956年までに60点余の紙芝居を出版 当時の小学校教育で紙芝居の活用はめずらしいものでなかつた テレビ放送が開始、街頭紙芝居衰退にむかう 教育紙芝居研究会・日本紙芝居幻灯倒産、「童心社」創立 業務をひきつぐ (当時紙芝居の出版社が6、7社あった)
保育紙芝居 (幼稚園や保育所における教材としての紙芝居)	1960 (昭和35) 年 1967 (昭和42) 年度から 1958 (昭和33) 年度から	図書館の紙芝居貸し出し始める 文部省実施「第一次教材整備十か年計画」で学校から紙芝居をしめだす結果となる (文部省では当時千円未満の教材は備品ではなく消耗品扱いとした) 童心社・教育画劇とも幼稚園・保育所での定期購入を求める保育紙芝居を月刊発行 (月刊発行、教育画劇は1989年度をもつて終了) 不定期ながら他の出版社から紙芝居出版

③発刊年をめぐって  
また発刊年をみると

発刊年	作品点数
昭和26	1
27	1
28	8
29	5
30	9
31	3
32	1
33	5
34	1
36	1
37	1
38	1
45	3
(未詳)	2

昭和26年から昭和45年まで幅がみられた。

④場面数をめぐって

最近、出版されている紙芝居は12場面から構成される作品が多い。かつての作品群には16場面の紙芝居がみられ、最近の子ども達の聴く力の衰えから、場面数が減少したのではないかと考えていた。しかし、この42点の紙芝居からみると、そうはいえそうにない。

場面数	作品数
10	1
11	1
12	36
14	2
16	2

と、16場面は2点のみで、圧倒的に12場面が36点と大半をしめている。この結果からみると、どうも、かつても12場面が主流で、子どもの観る力・聴く力が衰えてきたからの場面数ということではないかもしれない。むしろ12場面という展開が、紙芝居にとっては一番適した長さということである。

⑤「おわりおしまい」の記述をめぐって

紙芝居の納め方の記述としては、

「ねずみのよめいり・おしまい」（日本昔話　ねずみのよめいり）  
「これでかぼちやのかぼちゃんのお話、おしまい」（かぼちやのかぼちゃん）

かぼちゃん）

「これで火守のおきなは　おしまい」（ひもりのおきな）  
「みつちーのおるすばんは　これでおしまい」（みつちーのおるすばん）

「ではみつちー龍宮へゆく　これでおしまい」（みつちー龍宮へゆく）

「静かに幕」（モンタの大サーカス）

「『しろちやんばんざい』これでおしまい—静かに幕」（しろちやんばんざい）

がみられた。

現在の紙芝居には、「おわり」または「おしまい」の記述が付記されているのが大半である。かつての、これらの記述をみると、私達に、紙芝居の語り納め方の方法を提示してくれている。つまり、子ども達への紙芝居語り聽かせの納め方とは、

静かな声の調子でタイトルをつけ

一場面へともつてゆき

静かに子ども達の気持ちに添うように幕をおろしたらどうか  
ということである。

⑥シリーズ名をめぐって

紙芝居はセット販売を原則とする形が、よくみられる。このことは、かつてもあつたかもしれないが、ここではシリーズ名から、その当時、出版社がどのような意図で、紙芝居づくりをしていったのかをさぐってみたい。

42点中のシリーズ名としては、

幼稚教育紙芝居文庫	7点
幼児保育紙芝居全集	1点
幼児テキスト紙芝居シリーズ	5点
保育童話紙芝居シリーズ	2点
児童百科紙芝居全集あたらしい躰篇	1点
幼児のしつけシリーズ	1点
幼児のしつけ紙芝居シリーズ	2点
保育漫画紙芝居シリーズ	2点
伝承童話紙芝居シリーズ	3点
日本名作童話紙芝居全集	1点
世界人形劇紙芝居全集	4点
こねこのみつちーシリーズ	1点
の12企画であった。さらに、シリーズ名の中まで入って検討してみると、	1点
幼児8点、幼児教育7点、幼児保育1点	1点
保育4点 児童1点 童話3点 伝承童話3点 しつけ3点 テキスト5点	1点

であった。これらの表現は、紙芝居製作者側の意図の一端をみると、  
紙芝居は、たしかに子ども達にとつてのテキストであり、しつけ  
の素材であつても間違いではない。しかし、一番大切なことは、一  
つひとつの作品をとおして、子ども達に何を伝え、かつ届けるかと  
いうことであろう。そして、この語り手の思いから、聴き手も自分  
の中にもつてゐる様々な思いをひきだしていくてくれる存在が、紙  
芝居なのである。

絵本とは一味違う紙芝居の魅力を、今後も子ども達へと届けてゆ

きたいものである。

#### ⑦紙袋のめもをめぐつて

「古本屋にて手に入れた紙芝居42点」は、2つの古本屋から入手したものである。その中、昭和45年の二点を除く39点は、もう茶かつ色化し、一部は破れた形になつた紙袋の中に、一点ずつ入つていた。そして、その紙袋にはマジック等で、資料④中にも記したような書きこみがあつた。これらの記述を検討すると、かつて42点の紙芝居が存在していた場所をもさぐることができた。

具体的な場所の記述としては、三通りの書きこみがあつた。

・福岡市立公民館区立原幼稚園園長 小島三司

・福岡市立原小学校 来年児學級

・福岡市大字原新町100番地 福岡市立原小學校 電話西②-1五一五番

と10点26%には、以上の記述があつた。ということは、かつて福岡市立公民館区立原幼稚園・原小学校の子ども達に対して、先生が語つていた紙芝居であつたらしいことがわかる。他の31点も、その可能性があるが、断定はできない。

また、紙袋には、紙芝居の書名と共に、何月にこの作品を語つた  
らの書きこみも多数みられた。そして、『いなくなつた みこちや  
ん』には、「一年保育」と対象年児の記述もあつた。先生は、これ  
らのメモも活用して、子ども達へ語つていたのであろうことが推測  
できる。

#### ⑧紙芝居の値段をめぐつて

現在の紙芝居の値段と即比較できないが

値段	点数
200円	1
240円	2
260円	28
300円	3
320円	1
350円	4
480円	3

と、昭和45年の三點480円は除くとして、昭和20、30年代では、200円、320円で販売されていた。260円が28点と一番多く、この値段が基本的な価格であつたらしい。

以上、42点の古本屋から入手した紙芝居から学びとったことをまとめてみる。

1昔話・伝説をはじめとした伝承民話を素材とした紙芝居は、今でも色あせない作品として存在している。

2全体的に、画の表現がきちんと書きこまれていた。

3紙芝居の語り納めは、「おわり　おしまい」の強調性は余りみられず、語り手にゆだねられている面もみられた。

4テーマ性のしつかりとした紙芝居、かつきちんと書きこまれた画も多く、現在の子ども達にも語つてあげたいと思う作品もたくさんあった。

5童心社は、現在「紙芝居ベストセレクション第1集 第2集」を各10巻ずつ20巻、半世紀に渡る紙芝居の結晶を21世紀に残したい作品群として販売している。童心社の目にかなった紙芝居20点ということであろうが、48点の中にも是非復刻してほしい作品がある。このようなことを実現すると、現在の子ども達への幸せなプレゼントとなるのではと思っている。

絵本・紙芝居にしても、一定の読み手がいなければ絶版となる傾向が顕著である。では、かつてどのような作品が出版されているかを探査するとなると、図書館か幼稚園・保育所でということになる。しかし、図書館はともかく、幼稚園・保育所では子どもの興味関心を含め、新園舎へと改築していく中で、以前の作品群は忘れされてゆくなっているようと思う。そこで私自身が入手できる、もう一つの場として古本屋市場がうかんできたのである。今後も、古本屋市場での紙芝居存在を活用しながら、検討をつづけてゆきたい。